

11月14日(金)、旧飯山町内中心部において、毎年恒例の「さいまつ托鉢」が行われました。

### 寒空の下：

飯山地区仏教和合会の14名のご住職が、朝霧の中、上町・善覚寺を朝8時半に出発し、地区内で托鉢し、正午に福祉センターに帰着しました。今年喜捨していただいた浄財は13万3千308円で



玄関先で待っていて下さった地区内の方も…

した。毎年このことなので、「チリン、チリン」という鐘の音が聞こえてくると、玄関先まで出て来て喜捨くださる方もいらつしゃいます。皆様から集められたこの浄財は、「赤い羽根共同募金」に寄附されます。ご協力くださった方々に對しまして、心より御礼申し上げます。

## 〜〜グループ“あすぽら”のお誘い〜〜

病気をお持ちのお子さんとそのご家族が、日々の悩み・相談・情報交換をする場です。子どもが病気だと知らされた時、親は心を痛め、やりきれない思いに伏せることでしょう。それでも頑張って前向きに家事・育児・仕事・病院通いと日々忙しく過ごす毎日の中、「早くこの暗いトンネルから抜け出したい」と願っていることと思います。そして、病気の子どもをもつ親同士にしかわからない気持ちが沢山ありますよね。お互い分かり合いながら、困っていることを相談したり、沢山の情報を交換しませんか。2人の親が子どものために「何かできないだろうか…」と動いていますが、やはり2人では何も出来ません。そこで、一人ひとりが活力源になる場をみんなで作っていきたいと思います。一緒に考え、行動しませんか！(代表者：丸山 公美)

日にち： 12月15日(月)  
1月26日(月)  
2月23日(月)  
3月16日(月)

※市の保健師、家庭相談員に入ってください日もあります。

時間：午前10時～11時30分  
場所：飯山市福祉センター(本町)  
3階 相談室3 (エレベーターで直接3階までどうぞ！)

あすぽらの名前の由来：病気を抱えていても、未来ある子ども一人ひとりが病気に負けず、自身に負けずにまっすぐ強く、勇気をもって生きてほしいとの願いから

お問い合わせ：飯山市社会福祉協議会 ☎ 62-2840  
一人で悩まずに、まずは電話してみてください♪

## 赤い羽根共同募金

今年も赤い羽根共同募金にご協力いただきまして誠にありがとうございます。

まだ12月まで期間は続きますが、今年度の実績につきましては、12月1日現在の時点で810万6196円で、目標金額(832万円)の、約97.4%になります。詳しくは来年の2月に発行予定の、「赤い羽根だより」をご覧くださいければと思います。

ご苦労頂いた区長さん、民生児童委員さん、各地区の関係各位、それに職場や地域、学校等でご協力くださった皆様方に、繰り返し御礼申し上げます。本当にありがとうございます。

皆さん、  
どうもありがとうございました



## 歌

飯山 石沢 タツエ

くつ下をはいてねむれる寒さかな  
のど自まんごころうさんと鐘ひとつ

常盤 金井 幸子

紅葉の山道登りて中腹に  
滝の水音もみじの真紅

## 声

### ぞんぜあげ

安心して子どもを産めなくなった日本。私達夫婦は安心して娘達を産み育てた。その娘達が今、出産という一大事業まで到達した平成のこの時代、大昔に戻った訳ではないはずなのに、お産に不安をかかえる変な時代がきた。お産は親への最後の『ぞんぜあげ』(方言)といつのころの昔からか言われてきた。

そのくらい近くの人の力を借りないと成し遂げられない大仕事だということを昔の人が教えてくれている言葉だと思おう。日赤の産科が再開したと聞いているが、飯山に産まれた女性が安心して『ぞんぜあげ』に帰って来れるような、イヤ、日本各地に広がる産婦人科医と小児科医不足も飯山に波及する中、飯山

### 編集後記

には素晴らしい産科や小児科が総合病院にあって、安心して暮らせる、そんな飯山でありつづけてほしいと願っています。(匿名)

やっとというか、ついに初雪が降り、飯山にもいよいよ冬がやってまいりました。毎年この時期になるとタイヤを替える頃合いを見計らっているのですが、今年はバッチリ、初雪の前夜に替えました。▼しかし、やはり根雪にはならず、ちょっとだけ「もったいないなあ…」なんて思ったりもしています(11月26日現在)▼上段の匿名さんの「ぞんぜあげ」という言葉は知りませんでした。大事にしたい言葉ですね▼今年も残り半月ほどになりました。皆さま、本年中は当会へのご理解とご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。来年も何卒よろしくお願いたします。▼どうぞ良いお年をお迎えください!!

(編集者 木鋪)